

since 1995.12
2021年10月発行

社会福祉法人SKYかわさき

〒214-0014 川崎市多摩区登戸 2341-1

TEL : 044-299-6526

FAX : 044-922-6628

HP : <http://www.sky1995.com/>



SKYかわさき通信 第46号

「社会福祉法人 SKY かわさき この1年 ～市川悦子さんを想いつつ～」

理事 ホームSKY 所長 青野 眞美子

昨年11月に「社会福祉法人SKYかわさき」はNPO法人からの事業委譲を受けて、新しいスタートを切りました。コロナ禍での事業の在り方に悩み迷いながらの1年は、例年行われている様々な取り組みや、レクリエーションまでも中止や延期とせざるを得ない残念なことも多くありました。けれどもインターネットの利用や様々な工夫を検討しながら歩んだ1年でもありました。中でも7月には、ホームが撮影に協力した、ドキュメンタリー映画「不安の正体」（グループホーム反対運動に対する啓発DVD制作 飯田基晴監督）の上映会を感染対策の中、開催することができ、170名を超える市民の方、関係者の皆様にご来場頂くことができました。（関連記事2ページ）そして映画の中での当事者の皆さんが語る言葉の力強さと、アンケートに記載して下さった皆様からの励ましの言葉に沢山の力をいただきました。映画会にご協力、ご参加頂いた皆様、またこの1年SKYの事業を応援して下さいました皆様へ心より感謝申し上げます。

私たちはこの映画会の直後、今までSKYの事業を推し進めてきた大事な仲間であった市川悦子さんの訃報を知ることとなりました。市川さんは、SKY事業所第1号のホーム「あんじょうやりや」に入職して23年、まだ小さな市民団体だった頃からの職員でした。また、川崎市ホーム連の代表も務め、その後NPO法人時代の所長、総務部長、理事と、小さな体でいつも沢山の仕事をこなし、課題に立ち向かう闘士でありながら、チャームングで本当に優しい人でありました。SKY通信43号でご自分の病について語られています。闘病生活2年半、映画会を最後まで見守ってくれて旅立った市川さんは、映画の中でも「これ（反対運動）はこのままにはできないという思いで進んできた」と画面いっぱいに真剣に語っています。

市川さんは亡くなる1か月前、無理を言ってお見舞いに行かせてもらった私たちに、自分が初めて医療や福祉の利用者になって思うこと、「本当に難しいことだけど、利用者さんの立場に立った支援者でいてほしい」と辛い体調の中、沢山の思いを熱く語ってくれました。

私たちは彼女からの最期のメッセージを心に深く刻みながら、またこれからも、前に進んでいきます。

《法人本部からのお知らせ》

SKYかわさき設立記念映画のご報告

2021年7月5日(月)に、新百合ヶ丘にある川崎市アートセンターにおいて、社会福祉法人SKYかわさき設立記念映画会として「不安の正体～精神障害者グループホームと地域」(飯田基晴監督)の上映を行いました。



2014年春、当法人(当時はNPO)の運営するグループホームは、移転開設に当たり地域住民の方々から強い抗議の声を受けた経験があります。多くの方の支えと働きかけがあり、移転計画は半年遅れたものの無事完了し、現在は町会にも加入して平穏な暮らしを続けております。その後、近隣他都市でも同様の反対運動が生じており、中には撤退を余儀なくされた事案もあったと報道されています。国の隔離収容政策の爪痕は深く市民へ影響を与えていることを実感す

るとともに、障害のある人の権利を守るために、地道に普及啓発を続ける必要があると痛感します。今回の映画の企画がSKYに持ち込まれた折に、普及啓発の趣旨に賛同した多くのメンバー(入居者)が出演を快諾してくださいました。良いところも悪いところも、喜びも悲しみも持つ人として、あるがままの姿でインタビューに応じてくれました。当日は1日2回公演で、174名の方にご参加いただきました。昼の部には出演者5名が参加され、監督から感謝の花束をいただきました。夕方の部には飯田監督のトークの他、池原毅和弁護士より企画の趣旨などお話しいただきました。終了時には時間制限のある中、140名の方からアンケートの回答をいただき、とても良かったとの評価をいただくことができました。7月27日の朝日新聞でも「生きる姿、ありのまま」とする大見出しで、上映会の様子が紹介されました。



精神障害のある人の未来を拓くために、地域に開かれた社会福祉法人として、今後も粘り強く普及啓発に取り組んでまいります。

記 三橋 良子



「SKY25年のあゆみとこれから」を発行しました



2020年は当団体が市民団体として産声をあげてから25年。そして、「社会福祉法人SKYかわさき」として新たな一歩を踏み出し、過去と未来を繋ぐ節目の年であったと思います。市民団体、NPO法人、社会福祉法人と冠を変えながら、多くの方々に支えられ、共に助け合い一歩ずつ歩んできたこの四半世紀の歴史を形にしたいと思い、記念誌「SKY25年のあゆみとこれから」を制作しました。

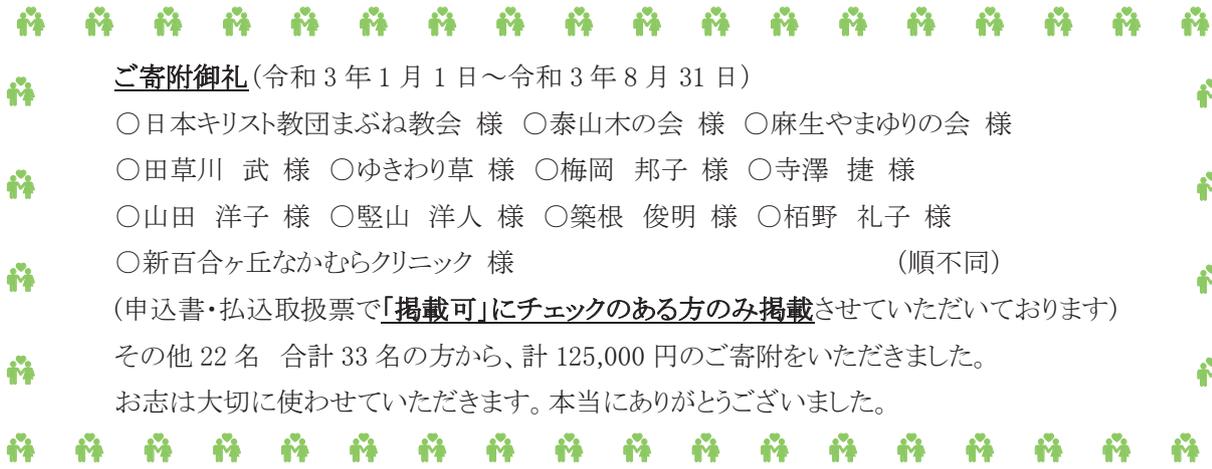
編集委員はSKYの始まりから知る三橋良子理事長と、中堅職員、新人職員の5名。ほとんどが10年以上前のことは知らない世代で記念誌制作にあたったので、まさに手探り状態。知らないことが多い中を掘り起こし、まとめていく作業は大変ではありました。また、知っているからこそどれも大切な思い出で、精査していくのも大変でした。

約100ページの盛りだくさんな記念誌が完成しましたが、実は他にもたくさんの企画提案がありました。どれもSKYを語るうえで載せたいもの、伝えたいことで、それらを掲載しないと判断したことは大変残念でした。そんな制作の苦労もまた、若い世代の職員にとっては、懐かしい話を聞き写真で知ることができたとても貴重な時間でした。記念誌に載せきれない多くのことに触れられたのは、編集委員の特権だと思っています。

今回、記念誌発行に伴い、これまでお世話になった皆様から寄稿文を賜りました。多くの寄稿文の中で職員やメンバーとの思い出が語られています。福祉の制度、街の姿、事業所の数、社会は実に目まぐるしく変化しています。その間には嬉しいことも、悲しいことも、笑顔も、悔し涙も・・・25年の間には多くの出会いと別れがありました。人とのつながりで紡がれてきたSKYなのだと、改めて実感しました。

インスタントカメラの色褪せた写真、メンバーの想い、文章に登場する懐かしい人や物語、今のSKYとこれからのSKYを感じながら、何度も眺めてくださると幸いです。

記 藤井 恵美子



ご寄附御礼(令和3年1月1日～令和3年8月31日)

- 日本キリスト教団まぶね教会 様 ○泰山木の会 様 ○麻生やまゆりの会 様
- 田草川 武 様 ○ゆきわり草 様 ○梅岡 邦子 様 ○寺澤 捷 様
- 山田 洋子 様 ○堅山 洋人 様 ○築根 俊明 様 ○栢野 礼子 様
- 新百合ヶ丘なかむらクリニック 様 (順不同)

(申込書・払込取扱票で「**掲載可**」に**チェックのある方のみ掲載**させていただいております)

その他 22 名 合計 33 名の方から、計 125,000 円のご寄附をいただきました。

お志は大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

「不安の正体」DVD SKY 事業所での販売

お求めの方はご連絡下さい。 ◆があでん・ららら 電話：044-989-8323

◆きたのば 電話：044-922-6628 ◆はっぴわーく 電話：044-299-6367

販売価格：「不安の正体」個人視聴用 DVD 3,500 円 (税込み割引価格)

画竜点睛

物事を成し遂げるために重要な最後の仕上げという意味のこと。

今号より、評議員の皆様のごひとことコーナーとして開設します。

節目に際して

評議員 坂本 勉

この夏休みは感染リスクを避けるため、クルマで移動し、神戸に滞在しました。たまたま誕生日があり、56 歳を迎えることになり、ドライブと食事の合間に、神戸大学の金井壽宏先生の名著「働く人のためのキャリア・デザイン」を読みながら、人生の節目につき考えてみました。

誰の人生にも、あのときだったな、と思える節目があるはず。一般的には、就職や結婚、昇進や転職などがありますが、私の場合は結婚がない代わりに、「病気」が加わります。

それらに際して、私自身、どのように対処してきたか。一貫した信念や筋を通してきたとはとても言えません。その場その場の打開策を周囲に影響されながら探り、ふらりふらりと流されるように取捨選択してきた結果のように思えます。ただし、自分の志だけに基づく決断もありました。その意味で、完全な自律的キャリアというよりは、様々な環境要因との相互関係の中で育まれた、二筋も三筋もある複雑なキャリアということになるでしょう。

それでも、振り返って自分の歩んできた道を見渡すと、それほど筋が通っていないものでもありません。おそらく、私自身の中にある精神性が「人のためを思う」活動を好んできたからかもしれません。

だれしも、こうした軸となる精神性、あるいは志のようなものを持っているはず。長い人生、失敗や寄り道は誰にでもあるものです。流れに身を任せることも悪くないと思います。ただし、節目に際して、内省することは必要かなと思います。考えるのにお金はかかりません。自分は何がしたいのか、どうすることが自分らしいのか、節目に際して自問自答しておけば、あとは何とかなるような気がします。



節目に際し、私自身は、今後を展望し、どうあるべきかをなんとなく考え、必要な情報収集を開始しました。まだまだ脱皮するつもりです。そして、「人のためを思う」人生だったと、思える日が来ることを願っています。

以上



地域活動支援センター さくらスタジオ



J.B) 体験談を話すのはとても緊張しました。

森文枝) さくらの発表者の発表が素晴らしかったです。自分も旅行記をもう1回発表してみたいです。

Kuri) 学生さんの疑問や熱意を知ることができ、とても貴重な時間でした。

イラスト(一部) みき

2021年6月30日、桜美林大学の特別講義で体験談と事業所紹介を行いました(withきたのは)。

この講義は、福祉を学ぶ大学2年生が障害福祉事業所の理解を深めることを目的としています。

初めてのZoomでの講義に、皆ドキドキで挑みましたが、フレッシュな大学生たちとの交流に有意義な時間を過ごすことができました。大学生からの質問、発表者や参加者の声をお届けします!!!

Q 地域や地域住民との具体的な交流は?

A 事業所を知ってもらうこと、地域を知ることは「障害者と地域」ではなく、「市民と市民」という関係づくりに繋がることだと考えています。今回の講義もそうですが、他にも以下のようなことを行っています。

・柿生ランチ会

利用者さんがリサーチから行う、事業所近隣の飲食店での食事会を開催。お店の方との交流もありますよ。

・近隣事業所との交流会

放課後等デイサービスの事業所さんとの交流会を開催。パラバルーンや朗読劇や歌で楽しく交流しました。

・地域イベントへの参加

あさお福祉まつりなどで朗読劇の発表を行いました。

就労継続支援 B 型事業所はっぴわーく～清掃部門～

多摩区登戸 2959 TEL/FAX044-299-6367



♪♪そうじってたのしい♪♪～作業内容と清掃の魅力をご紹介します～



◆はっぴわーくでは、清掃部門として川崎市北部リハビリテーションセンター内の日常清掃を行っております(土日祝日除く)。5エリアに分かれ廊下・階段・食堂をダスターでゴミを集め、ワイパーで拭きます。床についた靴のすり跡、通称「ヒールマーク」を見つけ綺麗に落とした時の気持ち良さは、何とも言えない楽しさを感じます。

◆調理室をモップ等、各部屋を掃除機で清掃します。掃除機の音に配慮しつつ、ときにはコロコロを使い綺麗にします。汚れていたところが綺麗になると気持ちが良くなり、清掃のやりがいを感じます。

◆トイレ清掃・浴室・洗面台の鏡やシンクを磨き上げ、ゴミ集積場の清掃・ゴミ回収をします。全行程が終わると体も良い具合に疲れ、心と体が充実を感じます。

新メンバー大募集

北リハ清掃部門では、一緒に働いてくれるメンバーを募集します。見学だけでも大丈夫。興味のある方は是非。

ご連絡お待ちしております。

メンバーの声

- ・そうじがプライベートで役に立った (Y)
- ・生活のリズムができた (K)、(U)
- ・仲間に会えてよかった (A)
- ・社会性が身についた (S)



地域相談支援センターひまわり



～令和3年10月川崎市相談支援体制の再編～

令和3年10月より川崎市では、相談支援体制（困りごとの相談をお受けしたり、福祉サービスを利用するときのお手伝いをしたり、退院後に地域で暮らすためのお手伝いをしたりする体制）の再編を行いました。

1か月ほど遅くなってしまいましたが、改めて概要についてお伝えさせていただきます。

①基幹相談支援センターを北部・中部・南部地域に1カ所ずつに再編

北部（多摩区、麻生区）・中部（高津区、中原区、宮前区）・南部（川崎区、幸区）に分かれています。

②地域相談支援センターに地区担当制を導入

「どこに相談したらいいの？」という声を受けて、お住いの地区ごとに相談する先を明確にしました。

原則としては地区の担当センターにご相談頂きますが、区内の他のセンターに相談することもできます。

*担当地区については川崎市ホームページ、お近くの区役所、相談支援センターへお問い合わせください。

ひまわりはこれからも麻生区の地域で暮らす方たちのお困りごとやご相談をお聴きしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

共同生活援助事業所～ホーム SKY～



ゆうえんハイツ（きらくや・あんじょうやりや）では日中在宅している方が多い火曜日、できる方に声掛けをして12時から約30分間の体操を実施しています。

前半はラジオ体操。DVDを見ながら、津軽弁からウチナーグチの沖縄までの

全11種類の中から毎週1つずつ行っています。「ラジオ体操第1どすえ」

（京都弁）、「腕前から上へあげておおきに背伸びの運動からいっておくれやっしゃ」

（大阪弁）などの掛け声に合わせています。

後半はYouTubeから、脳トレ、コグニサイズ、エアロビクス、ダンス、筋トレ、ボクシングエクササイズなど、多種多様な体操を2つ行っています。「簡単そうだけど、意外と難しい」「残りあと1分だから頑張ろう」

「汗かいたー」「運動したからお昼が美味しく食べられそう」などの声があります。

感染対策のため、換気・マスク着用を徹底し、楽しみながら運動をしています。

コロナで外出の機会が減り、運動不足になりがちです。1人ではなかなか継続することは難しいですが、みんなでやることにより継続できています。



地域活動支援センター

きたのば



インスタグラム
@kitanovashop



ネットSHOP
<https://kitanovashop.stores>

～WITH コロナでも、何かいいことができました～

まだまだコロナの影響は続き、地域の販売イベントは軒並み中止や縮小。当たり前になっていたことのありがたみを改めて感じる今日この頃。こんなときにも、地域の皆さまにご注文をいただき、お力をいただき、応援いただけることで、きたのばのキャッチコピーにある**何かいい**取り組みができています。今回はその一部をご紹介します～



石井農園さんで委託販売！！

きたのばのお隣にある梨園、**石井農園**さんでは、平日の午前中に**美味すぎる野菜や果物を販売**しており、5月からの1ヵ月間・**期間限定**で**きたのばのお掃除セット**や**巾着**も一緒に置いていただきました！「プレゼントにあげる！」と何個もご購入してくれる方がいたり、「きたのばがどんなところか知らなかったわ！」とハッとする声を聞ける場となり、貴重な機会となりました。期間終了後もきたのばの紹介ポスターを掲示し続けてくださっています。



お掃除セット

アクリルたわしと刺繍布巾のセット
200円



みかん

以前、体調が悪いなか帰宅したとき、石井さんは様子を気にかけてくれました。ありがたかったです。

そうなんです！委託販売の相談へ行ったときも「何かできることがあれば、と思っていたから大丈夫だよ」と快く承りいただいて、感激でした。感謝しかないです。



鹿

動物愛護フェアのノベルティを作りました



楽しんで刺繍しました！
犬・猫ちゃんたちが大切にされますように。



Oちゃん

令和3年10月4日(月)～8日(金)に開催されるペットの正しい飼い方を学べる**動物愛護フェア**で限定100名の来場者に配布されるノベルティ「**犬・猫刺繍布巾**」を作成しました！

刺繍するのってね、ほんと～に細かいんです。同じ幅で針を刺し続けること、ゆるやかなカーブとかね、難所も多く**奥が深い**んです。でも、目と口を縫う人、犬・猫の輪郭を縫う人と分担しながら、それぞれ色合いも表情も違う、かわいい布巾を楽しみながら作ることができました！



紙ひこうき

令和3年 11月号

地域活動支援センター 紙ひこうき
〒214-0014 多摩区登戸 2341-1
TEL/FAX 044-922-3686

なかなかコロナの勢いが収まらず、感染対策や自粛生活など気の抜けない日々が長期化してきました。そんな生活の中、ミーティングなどを通して“やってみたい事・共有できる事・楽しめる事”について意見を募りました。今号では、そこで出た希望をもとに実施したプログラムをご紹介します。

紙ひこうきとは…

精神に障がいのある方の地域生活を支援する、地域活動支援センターです。自分のペースで来られる憩いの場、自分たちで創り上げる自分らしさの場として活動しています。

○コロナ学習会 (7月28日)

多摩区役所の保健師さんに来ていただきなぜ手洗いが大切なのか、ワクチンのことなどについてお聞きしました。他にも、納豆やヨーグルトなどの発酵食品をとること



で腸内環境を整える、睡眠をしっかりとるといった免疫力を向上させる生活の仕方についても教えていただきました。

○「不安の正体」上映会 (9月1日)

- ・グループホームは想像よりも温かい場所だと思った
- ・入居者が意志を持って過ごしている事がわかった
- ・昔の入院を思い出した
- ・障害を持っている人のことをもっと知ってもらいたい
- ・障害の有無にかかわらず色々な人に見てほしい

…などなど感想を共有しました。



○音楽ミーティング

今年度から始まった音楽プログラムです。活動についての方針は、参加するメンバーで案を出し合います。レコーディング体験や音楽紹介などやりたいことを出しあい、実現に向けた打ち合わせをします。



○音楽紹介 (月3回)

お気に入りの曲、思い出のある曲、おすすめの曲などを紹介し合う会です。「カラオケに行けない代わりに楽しめる」、「曲の歴史を知れる」、「色々な世界に触れられる」と大好評です。



○夏まつり (9月1日)

緊急事態宣言や天候により、内容や日程を変更して行いました。テラスでのギター・歌発表と花火を実施し、久しぶりの季節行事に盛り上がりました。



=== 今後も体調の変化に気を付けながら、できることを見つけて楽しんでいけるよう活動していきます。 ===



就労継続支援B型事業所

があでん・ららら



この度、ハーブカフェらららのホームページをリニューアルしました！
そこで、プロのカメラマンさんに来ていただき、カフェのメニューや
クッキー、ハーブティー、クラフト製品を撮影していただきました。
様々な要望にも快くお応えいただき、とても楽しい撮影会になりました。
今回は撮影会の様子や、実際に取っていただいた写真をご紹介します。



限られた時間の中で
様々なパターンの写真を
たくさん撮って下さい
ました。



1

撮影しているカメラマンさんを撮影♪
商品の置き方や、角度、
光の調整などプロのお仕事を
間近で見えて感動しました。

2

らららの商品のような
そうではないような(笑)
見せ方を工夫すると同じ商品でも
こんなに印象が変わるなんて。
どのメニュー、商品も素敵に
撮影していただきました。



Yummy!



3

渾身の作品です！
実は、このレイアウトの写真を
一番撮りたかったんです。
アドバイスをいただき数センチずつ動かしながらの
撮影でした。
完成した写真を見て「なんだかカフェっほい！」と
一同大興奮でした！

☆ 素敵な写真がいっぱいのホームページになりました！多くの皆様にご覧いただけると嬉しいです ☆

ホームページはこちら

FOLLOW ME



Instagram
やっています

.....みんなの広場.....

～ SKYメンバーの投稿コーナー ～

SKYメンバーの日常を切り取ったホットな投稿をお送りする「みんなの広場」。
今回も素敵な作品がそろいました！お楽しみください★



「東高根公園キャラクターヒガシくんとタカネちゃん」
ゆりあす マルコ



さくらスタジオ
渡辺 成美

奈良県の四季美しき 見事な山、木、水
そんなに美しき滝の氷 山、木、水
ピアノの曲 美しきかな
桜舞い散る 美しきかな
みどりがきれいで美しい
どっからみても 青さが美しい
寺がきれいで美しい
お寺を見て仏像を見る
雪降る石庭の美しさ
砂の海の美しさ
石の舟の美しさ
川に川に川に 水に水に水に
美しき美しき美しき 山に山に山に
海に海に海に 女に女に女に
山に山に山に

ホームSKY suzuki

奈良の四季の美しさを描いてみました

地球上最後の人

夢常甚足（ホームカンタービレ）

人間はいつまで生きるのでしょうか。
チョット心配だ。地球上の処の人が最後の
人になるのでしょうか。最後の人になったら
寂しいだろうな、と思うと切なくなる。人は
動物は必ず死ぬ。人間だけは例外ではない。
永遠に生き続けるわけではない。

どのように滅びるのだろうか、知るよしも
ない。私は死を恐れなければ、人間が滅亡
することには恐怖を覚える。私は最後の人
にならないことは自明であるが、最後になる人
のことを思うと同情するなんて、ことぐらい
では筆舌に表せない程、苦痛である。

いつかその日が必ず来るのであるから、今
日を大事にして、一日一日を大切に生きるこ
とが責務ではないであろうか。

一期一会、今日一日を大事に生きる。一生
懸命生きることが、大事なことである。

木枯しもんじろう様へ

木枯しもんじろう様は
秋が深まってくると
いたってやってくる
もみじや楓イチョウ並木
あらゆる木々たちの
葉っぱが大好き

ヒューヒュー叫びながらやってくる
木枯しもんじろう様は
寂しがり屋だから
人々を寒くするのが
大好きなのさ

ヒューヒュー叫びながら
枯葉をまき散らし
赤いじゅうたんや
黄色いじゅうたんを
こさえるのに大忙し

木枯しもんじろう様は
山々に赤や黄色や茶色と
染物をする達人さ

ヒューヒュー叫びながら
人々の心に幸せを
届ける達人さ

木枯しもんじろう様へ
素敵なお染め物をありがとう

紙ひこうき 夢路



「木枯しもんじろう」
紙ひこうき いまを



「私の趣味」
紙ひこうき ペケペケ



ホームSKY
mari

ホームSKY ネジネジ星人

作業所『ららら』から帰る途中の神社の写真です。太い木は、昔、中国では、皇帝様しか建築その他に使えなかった、ありがた〜い木だそうです。周辺には、マクドナルドやディスカウント店があって、ここは日本なのか?と思うような風景ですが、神社の境内は、自然が残っていて、古き日本を感じる事が出来ます。

「みんなの広場」では、みなさんの投稿を募集しています。写真、絵以外にもエッセイや詩など、ぜひ作品の一言コメントも添えてお寄せください。お待ちしておりますー♪ お問い合わせは職員まで



最近（でもなくなったのですが）起こったWハッピーについて聞いてください。

1つ目は幸せを呼ぶ？某「ハッピーターン」のハート型が1袋に2個も入っていたんです!!



ネットで調べたら、その確率はなんと1/10,000袋だということで、2度びっくりでした。そして、もう1つのハッピーは「四つ葉のクローバー」です!!数カ月前のとある日なつかしいなあなんて思いながらシロツメ草を見ていたら発見して

しまったのです!こちらの確率は1/100,000だそうです。

ハッピーターンはすぐにありがたくいただきましたが、四つ葉の方は、今だ使い道を思案中です。そして、今探しているのは

某カップヌードルの「フタねこ」なんです、これがなかなか

苦戦しております（笑）。何はともあれ、これを見たまみなさんにも

幸運が訪れますように…。



FROM: ひまわり 伊藤さん

次回のつぶやき



さくらスタジオ 菅さん

次回のつぶやきは～?

■新職員紹介

ゆりあす 佐藤仁史さん

4月に入職しました佐藤です。新しい出会いと発見で充実した日々を送らせて頂いております。まだまだ不慣れなことも多いですが、少しでも早くメンバーのお役に立てるようこれからも励んで行きたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

ホームSKY 岩城さやかさん

4月に入職しました。以前は就労継続支援B型事業所で働いていました。皆さんに色々教えていただきながら、グループホームの皆さんが安心して暮らせるように、働きたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

ホームSKY 廣澤雅子さん

9月に入職をし、すみれで勤務をさせて頂いております。少しでも皆さんのサポートが出来るように頑張りたいと思っております。好きなことは音楽・アート鑑賞・旅行です。宜しくお願ひ致します。

■異動のお知らせ

宮崎雄一郎さん 4月1日から「ひまわり」専任

三瓶友樹さん 4月1日から「紙ひこうき」専任

杉村幸信さん 4月1日から「ホームSKY」へ異動

伊藤陽介さん 4月1日から「はっぴわーく」へ異動

鹿野絵莉子さん 4月1日から「きたのぼ」へ異動

早坂勇氣さん 4月1日から「があでん・ららら」へ異動

■編集後記

巻頭言を読んで深い思いになりました。中途職員の自分の採用時にもホームSKY前所長だった市川さんが関わってくださり、「メンバーさんに伴走する」大切さを語られたのが心に残っています。SKY通信の編集は初めてですが、自分の知らないことを色々発見でき、楽しくやらせていただいております(ベア🐻)